研究

子どもの運動・スポーツにおける継続要因の検討(第1報)

— 日韓の子どもと保護者の運動実施状況や意識の調査から —

金 美珍¹⁾, 小林 正子²⁾

〔論文要旨〕

日本と韓国の小学3～6年生を対象に、幼児期と現在の運動状況および運動に対する意識について質問紙調査を行った。同時にその保護者に対しても、過去および現在の運動状況、子どもの身体活動への支援や考えについての質問紙調査を行い、日本の子ども153名(男子75名, 女子78名)と母親129名, 韓国の子ども327名(男子157名, 女子170名)と母親236名を分析対象とした。その結果, 学校の体育以外に現在運動を行っている子どもは, 日本では男子80.0%, 女子55.8%で男子の比率が高く, 学年別では, 3年生82.2%～6年生54.3%と低学年では高いが学年が上がるにつれ低くなっていた。韓国においては, 現在運動を行っているのは男子45.9%, 女子21.2%で男子の比率が高く, 学年別では, 3年生54.1%～6年生19.0%と全体的に日本より低く, 高学年ではとくに低率であった。日本では, 韓国の子どもよりも運動やスポーツに対する意識や関心が高く, 親のサポートも得られていた。ただし, どちらの親も子どもには運動をしてほしいと願っていた。親自身の現在の運動実施率は, 韓国の方が日本より高かった。本研究は日韓とも1小学校における調査であるため今後さらなる検討が必要であるが, 本研究からは, 韓国における現在の子どもの運動実施率は低いものの, 子どもを取り巻く環境や意識の変容により, 今後の状況が変化する可能性が示唆されたといえる。

Key words : 運動・スポーツ, 日韓の子ども, 運動継続, 親のサポート

I. 緒言

子どもの健康にとって運動は重要な要素であり, 子どもの頃からの活動量や不活動, ひいては肥満は, 思春期や成人に移行することが先行研究において指摘されている^{1,2)}。子どもの頃とその後との日常生活全般の身体活動量についての関連を検討した報告によると, 幼児期から学童期へ, または成人に至るまで, 幼い頃の生活習慣が後々まで引き継がれる可能性のあることが指摘されている¹⁾。

現在, 日本においては, 子どもの体力低下が問題と

なっているなかで, 健康日本21や特定健診などの施策により成人の運動熱が高まっている。韓国においては, 日本と同様に1985年頃より体格の増大に相反する青少年の体力低下が問題視され, 文化体育観光部が3年周期に実施する「国民体力実態調査」³⁾では小・中・高校生の体力低下が明らかになっている。一方で同調査は, 2000年代から週休2日制が導入されたことにより, 韓国の成人や高齢者においては余暇時間をスポーツ活動に利用したり, スポーツ参加率が高くなるなど, 国民の運動・スポーツに対する関心や意識が高まっていることを報告している。

Factors Facilitating the Continued Exercise of Children I — Questionnaire Survey of Children, Their Parents in Japan and South Korea —
Mijin KIM, Masako KOBAYASHI

1) 女子栄養大学栄養科学研究所 (客員研究員)

2) 女子栄養大学大学院 (研究職)

別刷請求先: 金 美珍 女子栄養大学発育健康学研究室 〒350-0288 埼玉県坂戸市千代田3-9-21

Tel/Fax : 049-282-3722

[2432]

受付 12. 5.10

採用 13. 6.17

このように、両国とも世界的なヘルスプロモーションの影響を受け、成人の運動意識が高まっているが、理想的には子どもの頃から運動習慣を身につけ継続することが、生涯の健康にとって重要であると考えられる。

そこで、日本と韓国の子どもの運動実施状況や運動に対する意識を把握し両国の状況を比較することは、今後の子どもの運動参加や運動継続について検討するための基礎資料になると考えられることより、日本と韓国の子どものおおよびその保護者の身体活動状況や意識について調査することを研究目的とした。

II. 調査対象および方法

1. 調査対象

日本における対象は、東京都23区の1つA区にある小学校1校の3～6年生全員の計248名、韓国では、中央部にある全羅北道B市の小学校1校の3～6年生全員の計411名とした。

A区は都内の北西部に位置する人口71万人の特別区、B市はソウルから200km南に位置する人口約65万人の道庁所在地で、日本の県庁所在地（政令都市を除く）に匹敵する都市である。B市の気候は、冬季の気温が低いものの四季がはっきりして全般的には温暖である。また、対象の小学校は市の中心部にある中規模学校である。通学はほとんどが徒歩通学であり、日本のA区の小学校も同様である。体育の授業は行われているが、韓国の一般的な小学校と同様に週1～2時間、A区の小学校は週3時間程度である。これにより韓国B市の小学校は日本のA区に比べて気候や通学条件等が大きく異なっているとはいえず、両者の比較はある程度可能であると考えられる。

また、日韓とも児童の保護者を対象とした。ただし、日本では家庭の諸事情を考慮して父母のどちらかが回答できるような質問紙を作成し、韓国では父親用・母親用の質問紙を用意して、両親からの回答を求めた。

2. 方法

質問紙は対象校の教員に依頼して子ども用と保護者用の調査用紙をセットにして子どもに配布し、家庭で回答を記入してもらい、1～2週間後に2部揃えて回収した。回答は保護者の任意とした。

調査項目は表1に示したが、子どもについては、幼児期および現在の運動状況、運動に対する意識など、

保護者に対しては、過去や現在の運動状況、子どもの身体活動への支援（14項目）、子どもの運動についての考えなどを尋ねた。

運動参加に対する友だちとの関わりの3項目は、Russell⁴⁾らの、身体活動に友だちが及ぼす影響に関する質問項目について、同一意味の範囲で適切な類語を選択した。

倫理面に関する配慮として、用紙に研究の趣旨を提示し、この調査への協力は自由であること、調査結果は研究にのみ使用され、無記名調査とし、調査用紙の提出をもって同意とみなされることを説明する文書を添付した。なお、本研究は女子栄養大学倫理委員会の承認を得、調査においては対象校の学校長と教職員の同意を得て実施した。

3. 分析方法

得られた回答から、現在運動を行っている子どもと運動を行っていない子どもに分類し、幼児期の運動の経験、運動に対する子どもの意識、運動参加に関する友だちの影響、子どもの運動のための親のサポートとの関連について性別、学年別、国別に比較検討した。なお、親の回答については、父親、母親の運動状況などは得られた回答を全て用いて集計したが、両国の比較においては母親の回答のみを用いた。解析はSPSS 17.0 for Windowsを用い、比率の偏りの検定には χ^2 検定を行い、有意水準は5%とした。

III. 結果

得られた回答は、日本では児童とその父親または母親が揃ったものが153組で、男子75名、女子78名、保護者では父親記入16名、母親記入129名であった（有効回答率61.7%）。韓国では児童とその父親または母親が揃ったものが327組で、男子157名、女子170名、父親記入83名、母親記入236名であった（有効回答率79.6%）。これにより、日本における父親の回答数の少ないことを考慮して、本研究においては母親記入の回答のみを分析対象とすることとした。調査用紙には母親の回答であっても父親の運動状況等を尋ねる質問が含まれていることから、両親の運動状況は母親からの回答に基づいて集計した。また、韓国では祖父母による回答もみられたが、これは除外した。なお、子どもの年齢は、同学年では韓国が日本よりも1歳年長である（表2）。

表1 調査項目一覧表

分類	大項目	中項目	小項目	
子ども	属性	性別・年齢・学年	性別	
			年齢	
			学年	
		体格	身長	
	体重			
	1) 運動状況	①幼児期	運動の好き・嫌い	体を動かすことの好き・嫌い
				外遊びの好き・嫌い
		②現在	運動経験	好きな遊び
				運動やスポーツの経験有無
	2) 運動に対する意識	①好き・嫌い		運動やスポーツの実施有無
				運動種目
				運動頻度
		②運動への意識		体を動かすことの好き・嫌い
				運動の好き・嫌い
学校の体育授業の好き・嫌い				
運動は重要				
③運動についてほめられる			運動の不足	
			運動が得意	
④体力			運動をもっと得意になりたい	
	運動をもっとうまくやりたいために頑張っている			
⑤親の運動		学校の先生やスポーツのコーチ		
		親		
⑥友だちとの運動参加		友だち		
		自信		
⑦嗜好性		必要性		
		親の運動やスポーツをみたことがある		
⑧勉強		親は運動が得意		
		いじめられないために、運動に参加する		
親	属性	年齢	父親の年齢	
			母親の年齢	
	1) 運動状況	①過去および現在の運動		過去の運動経験有無
				現在の運動実施有無
	2) 子どもの運動に対する親の考え	運動の重要性		運動種目
				運動頻度
	3) 子どもの運動への支援	①送迎		普段、スポーツをみる
				運動の楽しさ
		②激励		運動は重要である
				運動してほしい
		③一緒に身体活動を行う		運動する場所への送り迎え
				運動する友だちがいる所への送り迎え
		④手本や道具などの支援		応援
	ほめる			
⑤子どもの身体活動場での関わり		喜びを表す		
		身体を動かす		
		一緒に身体活動を行う		
		子どもの誘いによる		
		手本を見せる		
		スポーツ道具を買い与える		
		運動に参加している子どもを見る		
		他の保護者と親しい交流		
		ボランティアによる協力		
		他の子どもへの注意		

表2 基本属性

		日本			韓国		
		男子	女子	計	男子	女子	計
子ども	3年生	20(26.7)	25(32.1)	45(29.4)	43(27.4)	31(18.2)	74(22.6)
	4年生	16(21.3)	14(17.9)	30(19.6)	33(21.0)	28(16.5)	61(18.7)
	5年生	15(20.0)	17(21.8)	32(20.9)	37(23.6)	39(22.9)	76(23.2)
	6年生	24(32.0)	22(28.2)	46(30.1)	44(28.0)	72(42.4)	116(35.5)
	計	75(100.0)	78(100.0)	153(100.0)	157(100.0)	170(100.0)	327(100.0)
保護者 ^(注1)	父親	6(8.0)	10(12.8)	16(10.5)	157(50.0)	170(50.0)	327(100.0)
	母親	65(86.7)	64(82.1)	129(84.3)	157(50.0)	170(50.0)	327(100.0)
	両親(父母一緒に回答)	1(1.3)	2(2.6)	3(2.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	無回答	3(4.0)	2(2.6)	5(3.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	計	75(100.0)	78(100.0)	153(100.0)	314(100.0)	340(100.0)	654(100.0)
平均年齢							
子ども (歳)	3年生	8.9±0.4	8.9±0.3	8.9±0.3	10.0±0.4	10.0±0.0	10.0±0.1
	4年生	10.0±0.0	9.9±0.4	9.9±0.3	11.0±0.2	11.0±0.0	11.0±0.1
	5年生	10.9±0.4	11.0±0.0	10.9±0.2	12.0±0.0	12.0±0.2	12.0±0.1
	6年生	11.8±0.4	12.0±0.2	11.9±0.3	13.0±0.0	13.0±0.1	13.0±0.1
保護者 (歳)	父親		43.4±6.5			43.2±4.2	
	母親		41.2±5.0			40.2±4.0	

^(注1) 日本の保護者調査は父親か母親のいずれか一方が回答し、韓国では両親に回答してもらった。

1. 子どもの幼児期および現在の状況

1) 子どもの運動状況

①幼児期の遊びや運動の状況

幼児期においては、「体を動かすことが好き」、「外遊びが好き」について、日韓とも好きの比率が高く、9割以上を占めていた。遊びの内容については、日韓とも、男子はボール遊びや鬼ごっこのような外遊びが多く、女子はお絵かき、ままごとのような室内遊びが多い傾向であった。また、日本は韓国より外遊びの種類が多かった。

幼児期の運動やスポーツの経験(習い事として)については、日本は男子45.2%、女子61.5%、韓国は男子43.0%、女子27.3%に経験があった。日本は男子より女子の方が多く、韓国は男子の方が多かった。

運動種目については、日本は男女とも水泳が多く、次に男子はサッカー、女子は体操であった。韓国では、男女ともテコンドーが多く、次に男子は水泳、女子はバレエ・ダンスの順であった。

②現在の運動の状況

現在、子どもたちが学校の体育以外で行っている運動について、「スポーツ少年団に入っている」、「サークル・クラブに入っている」、「有料のスクールに通っている」と回答したものを「運動あり」群、「特に行っていない」と回答したものを「運動なし」群に分類し、

日韓の状況を表3に示した。

現在の「運動あり」群は、日本では男子80.0%、女子55.8%で男子の比率が有意に高く、学年別では、3年生から6年生へ学年が上がるにつれ低くなっていた。一方、韓国の「運動あり」群は、男子45.9%、女子21.2%で男子の比率が有意に高く、学年別では3年生で5割を超えていたが4年生から低下し、6年生は男女合計で20%を下回っていた。

運動頻度については、日本は男女とも週1回行っている者が多く、とくに女子は週1回が多かった。男子は週2~3回も4割以上を占めた。一方、韓国では週1回は少なく、週2~3回、週4~5回が多くなっていた。ただし韓国の男子には無回答が多かった。

1回の運動時間は、日韓とも男子の方が女子より長い傾向がみられたが有意差はなかった。日本は1時間以内および2時間以内が多く、韓国では1時間以内が多かった。

運動の継続年数は、日韓の男女とも3年以上6年未満が多かったが、6年以上も日本の男女、韓国の男子に少数みられた。

運動種目については、日本は男女とも水泳が多く、次に男子はサッカー、野球の順であり、女子はバレエ・ダンスの順であった。学年別にみると、水泳は男女とも3年生が高率であったが、男子は学年が上がるると減

表3 子どもの現在の運動状況

	韓国												p値 性別/学年別								
	男子						女子														
	3年生	4年生	5年生	6年生	計	3年生	4年生	5年生	6年生	計											
あり	16(80.0)	14(87.5)	12(80.0)	18(75.0)	60(80.0)	21(84.0)	7(50.0)	8(50.0)	7(31.8)	43(55.8)	29(67.4)	11(33.3)	20(54.1)	12(27.3)	72(45.9)	11(35.5)	6(21.4)	9(23.1)	10(13.9)	36(21.2)	
運動実施なし	4(20.0)	2(12.5)	3(20.0)	6(25.0)	15(20.0)	4(16.0)	7(50.0)	8(50.0)	15(68.2)	34(44.2)	**/*	14(32.6)	22(66.7)	17(45.9)	32(72.7)	85(54.1)	20(64.5)	22(78.6)	30(76.9)	62(86.1)	134(78.8)
計	20(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	24(100.0)	75(100.0)	25(100.0)	14(100.0)	16(100.0)	22(100.0)	77(100.0)		43(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	157(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	72(100.0)	170(100.0)
水泳	10(50.0)	6(37.5)	4(26.7)	2(8.3)	22(29.3)	12(48.0)	4(28.6)	2(11.8)	5(22.7)	23(29.5)	n.s./**	2(4.7)	0(0.0)	1(2.7)	0(0.0)	3(1.9)	1(3.2)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.4)	2(1.2)
以下運動あり 群に属して	6(30.0)	2(12.5)	5(33.3)	9(37.5)	22(29.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	**/n.s.	3(7.0)	0(0.0)	1(2.7)	2(4.5)	6(3.8)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
野球	1(5.0)	5(31.3)	2(13.3)	5(20.8)	13(17.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	**/n.s.										
運動種目 (複数回答)																					
パレエ・ダンス	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(12.0)	1(7.1)	1(5.9)	1(4.5)	6(7.7)	n.s./n.s.	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(3.2)	1(3.6)	3(7.7)	2(2.8)	7(4.1)
月1~2回	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(28.6)	2(4.7)		1(6.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(2.3)	1(11.1)	2(33.3)	0(0.0)	0(0.0)	3(8.8)
週1回	9(56.3)	10(71.4)	7(58.3)	5(27.8)	31(51.7)	18(85.7)	5(71.4)	4(50.0)	4(57.1)	31(72.1)		0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(25.0)	2(4.5)	1(11.1)	1(16.7)	1(11.1)	0(0.0)	3(8.8)
週2~3回	7(43.8)	4(28.6)	4(33.3)	12(66.7)	27(45.0)	3(14.3)	2(28.6)	4(50.0)	1(14.3)	10(23.3)	n.s./n.s.	4(25.0)	0(0.0)	7(50.0)	1(12.5)	12(27.3)	3(33.3)	0(0.0)	3(33.3)	3(30.0)	9(26.5)
週4~5回	0(0.0)	0(0.0)	1(8.3)	1(5.6)	2(3.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)		11(68.8)	6(100.0)	7(50.0)	5(62.5)	29(65.9)	4(44.4)	3(50.0)	5(55.6)	7(70.0)	19(55.9)
計	16(100.0)	14(100.0)	12(100.0)	18(100.0)	60(100.0)	21(100.0)	7(100.0)	8(100.0)	7(100.0)	43(100.0)		16(100.0)	6(100.0)	14(100.0)	8(100.0)	44(100.0)	9(100.0)	6(100.0)	9(100.0)	10(100.0)	34(100.0)
30分以内	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(12.5)	0(0.0)	1(2.4)		1(4.5)	1(9.1)	0(0.0)	1(8.3)	3(4.9)	2(20.0)	1(25.0)	1(12.5)	0(0.0)	4(12.5)
1時間以内	5(31.3)	6(42.9)	2(18.2)	3(17.6)	16(27.6)	11(57.9)	3(42.9)	1(12.5)	3(42.9)	18(43.9)		16(72.7)	7(63.6)	13(81.3)	3(25.0)	39(63.9)	7(70.0)	2(50.0)	4(50.0)	6(60.0)	19(59.4)
2時間以内	8(50.0)	4(28.6)	5(45.5)	6(35.3)	23(39.7)	8(42.1)	3(42.9)	3(37.5)	1(14.3)	15(36.6)	n.s./*	2(9.1)	3(27.3)	2(12.5)	7(58.3)	14(23.0)	1(10.0)	1(25.0)	3(37.5)	3(30.0)	8(25.0)
2時間以上	3(18.8)	4(28.6)	4(36.4)	8(47.1)	19(32.8)	0(0.0)	1(14.3)	3(37.5)	3(42.9)	7(17.1)		3(13.6)	0(0.0)	1(6.3)	1(8.3)	5(8.2)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(10.0)	1(3.1)
計	16(100.0)	14(100.0)	11(100.0)	17(100.0)	58(100.0)	19(100.0)	7(100.0)	8(100.0)	7(100.0)	41(100.0)		22(100.0)	11(100.0)	16(100.0)	12(100.0)	61(100.0)	10(100.0)	4(100.0)	8(100.0)	10(100.0)	32(100.0)
1年未満	3(18.8)	2(15.4)	1(8.3)	1(6.7)	7(12.5)	2(10.5)	2(33.3)	0(0.0)	1(14.3)	5(13.2)		4(16.7)	3(30.0)	7(46.7)	0(0.0)	14(23.3)	5(62.5)	2(50.0)	3(42.9)	2(25.0)	12(44.4)
1年以上3年未満	6(37.5)	4(30.8)	1(8.3)	6(40.0)	17(30.4)	6(31.6)	3(50.0)	3(50.0)	0(0.0)	12(31.6)		8(33.3)	4(40.0)	4(26.7)	5(45.5)	21(35.0)	2(25.0)	1(25.0)	3(42.9)	2(25.0)	8(28.6)
3年以上6年未満	6(37.5)	6(46.2)	8(66.7)	3(20.0)	23(41.1)	10(52.6)	1(16.7)	2(33.3)	2(28.6)	15(39.5)	n.s./n.s.	11(45.8)	3(30.0)	4(26.7)	3(27.3)	21(35.0)	0(0.0)	1(25.0)	1(14.3)	4(50.0)	6(22.2)
6年以上	1(6.3)	1(7.7)	2(16.7)	5(33.3)	9(16.1)	1(5.3)	0(0.0)	1(16.7)	4(57.1)	6(15.8)		1(4.2)	0(0.0)	0(0.0)	3(27.3)	4(6.7)	1(12.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(3.7)
計	16(100.0)	13(100.0)	12(100.0)	15(100.0)	56(100.0)	19(100.0)	6(100.0)	6(100.0)	7(100.0)	38(100.0)		24(100.0)	10(100.0)	15(100.0)	11(100.0)	60(100.0)	8(100.0)	4(100.0)	7(100.0)	8(100.0)	27(100.0)

*** p<0.001, ** p<0.01, * p<0.05, n.s.:有意差なし

表4 運動に対する子どもの意識（日本・韓国どちらからで差がみられた項目）

	日本												韓国												p 値
	男子						女子						男子						女子						
	3年生	4年生	5年生	6年生	計	p 値	3年生	4年生	5年生	6年生	計	p 値	3年生	4年生	5年生	6年生	計	p 値							
体を動かすことが好き	17(85.0)	12(75.0)	8(57.1)	17(70.8)	54(73.0)	16(64.0)	4(28.6)	10(58.8)	14(63.6)	41(56.4)	23(54.8)	16(48.5)	20(54.1)	22(50.0)	81(51.9)	17(58.6)	12(44.4)	16(41.0)	20(28.2)	65(39.2)	n.s.				
まあまあ	2(10.0)	3(18.8)	4(28.6)	6(25.0)	15(20.3)	8(32.0)	8(57.1)	7(41.2)	7(31.8)	30(38.5)	14(33.3)	14(42.4)	10(27.0)	17(38.6)	55(35.3)	9(31.0)	15(55.6)	17(43.6)	14(57.7)	82(49.4)	n.s.				
あまり	1(5.0)	1(6.3)	2(14.3)	1(4.2)	5(6.8)	0(0.0)	2(14.3)	0(0.0)	0(0.0)	2(2.6)	4(9.5)	2(6.1)	7(18.9)	4(9.1)	17(10.9)	2(6.9)	0(0.0)	5(12.8)	7(9.9)	14(8.4)	n.s.				
まったく	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(4.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(4.5)	2(2.6)	1(2.4)	1(3.0)	0(0.0)	1(2.3)	3(1.9)	1(3.4)	0(0.0)	1(2.6)	3(4.2)	5(3.0)	n.s.				
計	20(100)	16(100)	14(100)	24(100)	77(100)	25(100)	14(100)	17(100)	22(100)	78(100)	42(100)	33(100)	37(100)	44(100)	156(100)	29(100)	27(100)	39(100)	71(100)	166(100)					
とても	14(73.7)	9(56.3)	11(73.3)	21(87.5)	55(74.3)	21(84.0)	10(71.4)	16(94.1)	20(90.9)	67(85.9)	32(74.4)	17(51.5)	21(56.8)	29(65.9)	99(63.1)	18(58.1)	19(67.9)	24(61.5)	43(59.7)	104(61.2)	n.s.				
まあまあ	5(26.3)	6(37.5)	4(26.7)	3(12.5)	18(24.3)	4(16.0)	2(14.3)	1(5.9)	2(9.1)	9(11.5)	10(23.3)	14(42.4)	15(40.5)	14(31.8)	53(33.8)	9(29.0)	9(32.1)	14(35.9)	23(31.9)	55(32.4)	n.s.				
あまり	0(0.0)	1(6.3)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.4)	0(0.0)	2(14.3)	0(0.0)	0(0.0)	2(2.6)	1(2.3)	2(6.1)	1(2.7)	0(0.0)	4(2.5)	2(6.5)	0(0.0)	1(2.6)	6(8.3)	9(5.3)	n.s.				
まったく	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(2.3)	1(0.6)	2(6.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(1.2)	2(1.2)	n.s.				
計	19(100)	16(100)	15(100)	24(100)	74(100)	25(100)	14(100)	17(100)	22(100)	78(100)	43(100)	33(100)	37(100)	44(100)	157(100)	31(100)	28(100)	39(100)	72(100)	170(100)					
とても	2(10.0)	0(0.0)	1(6.7)	2(8.3)	5(6.7)	2(8.0)	4(28.6)	1(5.9)	2(9.1)	9(11.5)	8(18.6)	3(9.4)	6(16.2)	6(13.6)	23(14.7)	4(12.9)	3(10.7)	3(7.9)	9(12.5)	19(11.2)	n.s.				
まあまあ	2(10.0)	7(43.8)	6(40.0)	5(20.8)	20(26.7)	11(44.0)	2(14.3)	9(52.9)	11(50.0)	33(42.3)	14(32.6)	14(43.8)	13(35.1)	19(43.2)	60(38.5)	6(19.4)	15(53.6)	15(39.5)	32(44.4)	68(40.2)	n.s.				
あまり	5(25.0)	1(6.3)	5(33.3)	3(12.5)	14(18.7)	4(16.0)	6(42.9)	5(29.4)	4(18.2)	19(24.4)	11(25.6)	6(18.8)	10(27.0)	15(34.1)	42(26.9)	11(35.5)	6(21.4)	13(34.2)	16(22.2)	46(27.2)	n.s.				
まったく	11(55.0)	8(50.0)	3(20.0)	14(58.3)	36(48.0)	8(32.0)	2(14.3)	2(11.8)	5(22.7)	17(21.8)	10(23.3)	9(27.3)	8(21.6)	12(27.3)	39(24.8)	10(32.3)	4(14.3)	7(18.4)	15(20.8)	36(21.3)	n.s.				
計	20(100)	16(100)	15(100)	24(100)	75(100)	25(100)	14(100)	17(100)	22(100)	78(100)	43(100)	37(100)	44(100)	44(100)	156(100)	31(100)	28(100)	38(100)	72(100)	169(100)					
とても	12(60.0)	7(43.8)	3(21.4)	10(41.7)	32(43.2)	8(32.0)	1(7.1)	4(23.5)	4(18.2)	7(21.8)	15(34.9)	5(15.2)	10(27.0)	6(13.6)	36(22.9)	10(32.3)	4(14.3)	6(15.8)	9(12.5)	29(17.2)	n.s.				
まあまあ	6(30.0)	6(37.5)	5(35.7)	9(37.5)	26(35.1)	13(52.0)	7(50.0)	7(41.2)	11(50.0)	38(48.7)	18(41.9)	19(57.6)	16(43.2)	24(54.5)	77(49.0)	12(38.7)	18(64.3)	20(52.6)	32(44.4)	82(48.5)	n.s.				
あまり	2(10.0)	2(12.5)	6(42.9)	4(16.7)	14(18.9)	4(16.0)	3(21.0)	4(23.5)	6(27.3)	17(21.8)	10(23.3)	9(27.3)	8(21.6)	12(27.3)	39(24.8)	6(19.4)	6(21.4)	10(26.3)	28(38.9)	50(29.6)	n.s.				
まったく	0(0.0)	1(6.3)	0(0.0)	1(4.2)	2(2.7)	0(0.0)	3(21.0)	2(11.8)	1(4.5)	6(7.7)	0(0.0)	0(0.0)	3(8.1)	2(4.5)	5(32.2)	3(9.7)	0(0.0)	2(5.3)	3(4.2)	8(4.7)	n.s.				
計	20(100)	16(100)	14(100)	24(100)	74(100)	25(100)	14(100)	17(100)	22(100)	78(100)	43(100)	37(100)	44(100)	44(100)	157(100)	31(100)	28(100)	38(100)	72(100)	169(100)					
とても	14(70.0)	7(43.8)	6(40.0)	9(37.5)	36(48.0)	13(52.0)	3(21.4)	10(58.8)	5(22.7)	31(39.7)	19(46.3)	14(43.8)	12(32.4)	14(32.6)	59(38.6)	15(48.4)	9(32.1)	9(23.1)	17(23.6)	50(29.4)	n.s.				
まあまあ	4(20.0)	6(37.5)	7(46.7)	13(54.2)	30(40.0)	10(40.0)	6(42.9)	4(23.5)	15(68.2)	35(44.9)	17(41.5)	10(31.3)	14(37.8)	22(51.2)	63(41.2)	8(25.8)	15(53.6)	18(46.2)	32(44.4)	73(42.9)	n.s.				
あまり	2(10.0)	1(6.3)	0(0.0)	2(8.3)	5(6.7)	2(8.0)	3(21.4)	2(11.8)	1(4.5)	8(10.3)	2(4.9)	5(15.6)	10(27.0)	6(14.0)	23(15.0)	7(22.6)	4(14.3)	11(28.2)	20(27.8)	42(24.7)	n.s.				
まったく	0(0.0)	2(12.5)	2(13.3)	0(0.0)	4(5.3)	0(0.0)	2(14.3)	1(5.9)	1(4.5)	4(5.1)	3(7.3)	3(9.4)	1(2.7)	1(2.3)	8(5.2)	1(3.2)	0(0.0)	1(2.6)	3(4.2)	5(2.9)	n.s.				
計	20(100)	16(100)	15(100)	24(100)	75(100)	25(100)	14(100)	17(100)	22(100)	78(100)	41(100)	32(100)	37(100)	43(100)	153(100)	31(100)	28(100)	39(100)	72(100)	170(100)					
とても	8(40.0)	7(43.8)	8(53.3)	12(50.0)	35(46.7)	13(52.0)	5(35.7)	6(35.3)	13(59.1)	37(47.4)	12(27.9)	9(27.3)	11(29.7)	11(25.0)	43(27.4)	7(22.6)	4(14.3)	11(28.2)	16(22.2)	38(22.4)	n.s.				
まあまあ	8(40.0)	7(43.8)	3(20.0)	9(37.5)	27(36.0)	9(36.0)	6(42.9)	8(47.1)	7(31.8)	30(38.5)	12(27.9)	17(51.5)	16(43.2)	22(50.0)	67(42.7)	6(19.4)	18(64.3)	18(46.2)	26(36.1)	68(40.0)	n.s.				
あまり	3(15.0)	1(6.3)	4(26.7)	2(8.3)	10(13.3)	3(12.0)	2(14.3)	3(17.6)	2(9.1)	10(12.8)	13(30.2)	5(15.2)	8(21.6)	8(18.2)	34(21.7)	7(22.6)	4(14.3)	6(15.4)	25(34.7)	42(24.7)	n.s.				
まったく	1(5.0)	1(6.3)	0(0.0)	1(4.2)	3(4.0)	0(0.0)	1(7.1)	0(0.0)	1(4.5)	5(6.6)	6(14.0)	2(6.1)	2(5.4)	3(6.8)	13(8.3)	11(35.5)	2(7.1)	4(10.3)	5(6.9)	22(12.9)	n.s.				
計	20(100)	16(100)	15(100)	24(100)	75(100)	25(100)	14(100)	17(100)	22(100)	78(100)	43(100)	37(100)	44(100)	44(100)	156(100)	31(100)	28(100)	39(100)	72(100)	170(100)					
とても	11(57.9)	2(12.5)	2(13.3)	6(25.0)	21(28.4)	11(44.0)	4(28.6)	5(33.3)	10(45.5)	30(39.5)	10(23.3)	6(18.8)	7(18.9)	10(22.7)	33(21.2)	5(16.1)	6(23.1)	7(17.9)	9(12.5)	27(16.1)	n.s.				
まあまあ	4(21.1)	8(50.0)	9(60.0)	12(50.0)	33(44.6)	9(36.0)	5(35.7)	7(46.7)	7(31.8)	28(36.8)	10(23.3)	9(28.1)	16(43.2)	18(40.9)	53(34.0)	7(22.6)	7(26.9)	22(56.4)	26(36.1)	62(36.9)	n.s.				
あまり	3(15.8)	5(31.3)	3(20.0)	3(12.5)	14(18.9)	3(12.0)	3(21.4)	3(20.0)	4(18.2)	13(17.1)	10(23.3)	12(37.5)	10(27.0)	11(25.0)	43(27.6)	13(41.9)	11(42.3)	8(20.5)	31(43.1)	63(37.5)	n.s.				
まったく	1(5.3)	1(6.3)	1(6.7)	3(12.5)	6(8.1)	2(8.0)	2(14.3)	0(0.0)	1(4.5)	5(6.6)	13(30.2)	5(15.6)	4(10.8)	5(11.4)	27(17.3)	6(19.4)	2(7.7)	2(5.1)	6(8.3)	16(9.5)	n.s.				
計	19(100)	16(100)	15(100)	24(100)	74(100)	25(100)	14(100)	15(100)	22(100)	76(100)	43(100)	32(100)	37(100)	44(100)	156(100)	31(100)	26(100)	39(100)	72(100)	168(100)					
とても	14(70.0)	3(18.8)	3(20.0)	16(66.7)	36(48.0)	11(44.0)	5(35.7)	10(58.8)	10(45.5)	36(46.2)	20(46.5)	16(50.0)	19(51.4)	21(47.7)	76(48.7)	11(36.7)	11(39.3)	17(43.6)	33(45.8)	72(42.6)	n.s.				
まあまあ	3(15.0)	6(37.5)	7(46.7)	5(20.8)	21(28.0)	9(36.0)	4(28.6)	5(29.4)	5(22.7)	23(29.5)	9(20.9)	12(37.5)	8(21.6)	14(31.8)	43(27.6)	7(23.3)	8(28.6)	12(30.8)	25(34.7)	52(30.8)	n.s.				
あまり	3(15.0)	7(43.8)	5(33.3)	2(8.3)	17(22.7)	1(4.0)	2(14.3)	2(11.8)	4(18.2)	9(11.5)	7(16.3)	2(6.3)	8(21.6)	5(11.4)	22(14.1)	4(13.3)	6(21.4)	5(12.8)	10(13.9)	25(14.8)	n.s.				
まったく	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(4.2)	1(1.3)	4(16.0)	3(21.4)	0(0.0)	3(13.6)	10(12.8)	7(16.3)	2(6.3)	2(5.4)	4(9.1)	15(9.6)	8(26.7)	3(10.7)	5(12.8)	4(5.6)	20(11.8)	n.s.				
計	20(100)	16(100)	15(100)	24(100)	75(100)	25(100)	14(100)	17(100)	22(100)	78(100)	43(100)	32(100)	37(100)	44(100)	156(100)	30(100)	28(100)	39(100)	72(100)	169(100)					

	日本										韓国										p 値 性別/学年別
	男子					女子					男子					女子					
	3年生	4年生	5年生	6年生	計	3年生	4年生	5年生	6年生	計	3年生	4年生	5年生	6年生	計	3年生	4年生	5年生	6年生	計	
親は運動が得意だと思う	1(50)	2(125)	0(00)	1(42)	4(53)	25(1000)	14(1000)	17(1000)	21(1000)	77(1000)	23(535)	15(455)	12(324)	15(341)	65(414)	3(70)	1(30)	2(54)	2(45)	8(51)	n.s./n.s.
計	20(1000)	16(1000)	15(1000)	24(1000)	75(1000)	25(1000)	14(1000)	17(1000)	21(1000)	77(1000)	43(1000)	33(1000)	37(1000)	44(1000)	157(1000)	31(1000)	28(1000)	39(1000)	72(1000)	170(1000)	
とも	5(25.0)	3(18.8)	2(13.3)	2(8.3)	12(16.0)	8(32.0)	2(14.3)	1(6.3)	4(18.2)	15(19.5)	6(14.0)	1(3.0)	4(10.8)	6(14.0)	17(10.9)	3(9.7)	3(10.7)	0(0.0)	6(8.3)	12(7.1)	
まあまあ	12(60.0)	9(37.5)	4(26.7)	6(25.0)	28(37.3)	8(32.0)	7(50.0)	1(6.3)	6(27.3)	22(28.6)	9(20.9)	6(18.2)	12(32.4)	12(27.9)	39(25.0)	7(22.6)	8(28.6)	14(35.9)	19(26.4)	48(28.2)	
あまり	7(35.0)	10(62.5)	8(53.3)	10(41.7)	35(46.7)	6(24.0)	4(28.6)	2(11.8)	8(38.1)	20(26.0)	17(39.5)	11(33.3)	11(29.7)	13(30.2)	52(33.3)	11(35.5)	10(35.7)	10(25.6)	24(33.3)	55(32.4)	n.s./n.s.
まったく	0(0.0)	3(18.8)	4(26.7)	4(16.7)	11(14.7)	4(16.0)	2(14.3)	1(5.9)	6(28.6)	13(16.9)	11(25.6)	15(45.5)	10(27.0)	12(27.9)	48(30.8)	4(12.9)	3(10.7)	9(23.1)	14(19.4)	30(17.6)	
計	20(1000)	16(1000)	15(1000)	24(1000)	75(1000)	25(1000)	14(1000)	16(1000)	21(1000)	77(1000)	43(1000)	33(1000)	37(1000)	44(1000)	157(1000)	31(1000)	28(1000)	39(1000)	72(1000)	170(1000)	
他の人の動きをみて真似をしたことがある	8(42.1)	6(37.5)	6(40.0)	13(54.2)	33(44.6)	15(60.0)	3(21.4)	6(37.5)	9(40.9)	33(42.9)	10(23.3)	4(12.5)	9(24.3)	13(29.5)	36(23.1)	5(16.1)	5(18.5)	12(30.8)	11(15.3)	33(19.5)	
まあまあ	7(36.8)	6(37.5)	7(46.7)	5(20.8)	25(33.8)	8(32.0)	7(50.0)	5(31.3)	11(50.0)	31(40.3)	9(20.9)	15(46.9)	14(37.8)	18(40.9)	56(35.9)	9(29.0)	11(40.7)	16(41.0)	26(36.1)	62(36.7)	
あまり	3(15.8)	2(12.5)	2(13.3)	4(16.7)	11(14.9)	2(8.0)	3(21.4)	4(25.0)	0(0.0)	9(11.7)	10(23.3)	8(25.0)	11(29.7)	6(13.6)	35(22.4)	9(29.0)	7(25.9)	8(20.5)	28(38.9)	52(30.8)	n.s./**
まったく	1(5.3)	2(12.5)	0(0.0)	2(8.3)	5(6.8)	0(0.0)	1(7.1)	1(6.3)	2(9.1)	4(5.2)	14(32.6)	5(15.6)	3(8.1)	7(15.9)	29(18.6)	8(25.8)	4(14.8)	3(7.7)	7(9.7)	22(13.0)	
計	19(1000)	16(1000)	15(1000)	24(1000)	74(1000)	25(1000)	14(1000)	16(1000)	22(1000)	77(1000)	43(1000)	32(1000)	37(1000)	44(1000)	156(1000)	31(1000)	27(1000)	39(1000)	72(1000)	169(1000)	
とも	6(31.6)	7(43.8)	2(13.3)	11(45.8)	26(35.1)	3(12.5)	2(14.3)	2(12.5)	2(9.1)	9(11.8)	7(16.3)	5(15.2)	9(24.3)	12(27.3)	33(21.0)	3(9.7)	1(3.7)	7(17.9)	7(9.7)	18(10.7)	
まあまあ	7(36.8)	6(37.5)	6(40.0)	5(20.8)	24(32.4)	12(50.0)	4(28.6)	6(37.5)	9(40.9)	31(40.8)	11(25.6)	13(39.4)	9(24.3)	11(25.0)	44(28.0)	6(19.4)	8(29.6)	9(23.1)	8(11.1)	31(18.3)	
あまり	4(21.1)	2(12.5)	4(26.7)	6(25.0)	16(21.6)	8(33.3)	5(35.7)	6(37.5)	10(45.5)	29(38.2)	14(32.6)	11(33.3)	15(40.5)	18(40.9)	58(36.9)	8(25.8)	14(51.9)	16(41.0)	42(58.3)	80(47.3)	**
まったく	2(10.5)	1(6.3)	3(20.0)	2(8.3)	8(10.8)	1(4.2)	3(21.4)	2(12.5)	1(4.5)	7(9.2)	11(25.6)	4(12.1)	4(10.8)	3(6.8)	22(14.0)	14(45.2)	4(14.8)	7(17.9)	15(20.8)	40(23.7)	
計	19(1000)	16(1000)	15(1000)	24(1000)	74(1000)	24(1000)	14(1000)	16(1000)	22(1000)	76(1000)	43(1000)	33(1000)	37(1000)	44(1000)	157(1000)	31(1000)	27(1000)	39(1000)	72(1000)	169(1000)	
とも	8(42.1)	7(43.8)	9(60.0)	12(50.0)	36(48.6)	10(40.0)	1(7.1)	6(37.5)	11(50.0)	28(36.4)	20(46.5)	14(43.8)	15(41.7)	19(43.2)	68(43.9)	10(32.3)	5(17.9)	7(17.9)	8(11.1)	30(17.6)	
まあまあ	7(36.8)	6(37.5)	2(13.3)	5(20.8)	20(27.0)	11(44.0)	7(50.0)	5(31.3)	9(40.9)	32(41.6)	11(25.6)	12(37.5)	13(36.1)	12(27.3)	48(31.0)	9(29.0)	16(57.1)	15(38.5)	28(38.9)	68(40.0)	
あまり	2(10.5)	1(6.3)	3(20.0)	6(25.0)	12(16.2)	2(8.0)	5(35.7)	3(18.8)	1(4.5)	11(14.3)	8(18.6)	6(18.8)	6(16.7)	9(20.5)	29(18.7)	7(22.6)	6(21.4)	11(28.2)	26(36.1)	50(29.4)	n.s./n.s.
まったく	2(10.5)	2(12.5)	1(6.7)	1(4.2)	6(8.1)	2(8.0)	1(7.1)	2(12.5)	1(4.5)	6(7.8)	4(9.3)	0(0.0)	2(5.6)	4(9.1)	10(6.5)	5(16.1)	1(3.6)	6(15.4)	10(13.9)	22(12.9)	
計	19(1000)	16(1000)	15(1000)	24(1000)	74(1000)	25(1000)	14(1000)	16(1000)	22(1000)	77(1000)	43(1000)	32(1000)	36(1000)	44(1000)	155(1000)	31(1000)	28(1000)	39(1000)	72(1000)	170(1000)	
とも	11(57.9)	7(43.8)	9(60.0)	13(54.2)	40(54.1)	5(20.0)	3(23.1)	6(40.0)	10(45.5)	24(32.0)	25(59.5)	19(57.6)	16(43.2)	24(54.5)	84(53.8)	17(54.8)	14(50.0)	15(38.5)	26(36.6)	72(42.6)	
まあまあ	1(5.3)	4(25.0)	1(6.7)	2(8.3)	8(10.8)	7(28.0)	2(15.4)	2(13.3)	2(9.1)	13(17.3)	5(11.9)	10(30.3)	14(37.8)	12(27.3)	41(26.3)	7(22.6)	10(35.7)	11(28.2)	25(35.2)	53(31.4)	
あまり	3(15.8)	1(6.3)	3(20.0)	3(12.5)	10(13.5)	6(24.0)	3(23.1)	4(26.7)	6(27.3)	19(25.3)	5(11.9)	2(6.1)	6(16.2)	3(6.8)	16(10.3)	3(9.7)	2(7.1)	6(15.4)	11(15.5)	22(13.0)	n.s./n.s.
まったく	4(21.1)	4(25.0)	2(13.3)	6(25.0)	16(21.6)	7(28.0)	5(38.5)	3(20.0)	4(18.2)	19(25.3)	7(16.7)	2(6.1)	1(2.7)	5(11.4)	15(9.6)	4(12.9)	2(7.1)	7(17.9)	9(12.7)	22(13.0)	
計	19(1000)	16(1000)	15(1000)	24(1000)	74(1000)	25(1000)	13(1000)	15(1000)	22(1000)	75(1000)	42(1000)	33(1000)	37(1000)	44(1000)	156(1000)	31(1000)	28(1000)	39(1000)	71(1000)	169(1000)	
とも	9(45.0)	0(0.0)	3(20.0)	0(0.0)	12(16.0)	6(24.0)	3(21.4)	2(12.5)	3(13.6)	14(18.2)	8(18.6)	4(12.1)	8(21.6)	6(13.6)	26(16.6)	5(16.1)	2(7.1)	4(10.3)	10(13.9)	21(12.4)	
まあまあ	6(30.0)	5(31.3)	5(33.3)	15(62.5)	31(41.3)	12(48.0)	2(14.3)	4(25.0)	10(45.5)	28(36.4)	21(48.8)	17(51.5)	18(48.6)	20(45.5)	76(48.4)	16(51.6)	17(60.7)	24(61.5)	37(51.4)	94(55.3)	
あまり	5(25.0)	5(31.3)	6(40.0)	7(29.2)	23(30.7)	7(28.0)	7(50.0)	7(43.8)	8(36.4)	29(37.7)	11(25.6)	8(24.2)	10(27.0)	15(34.1)	44(28.0)	7(22.6)	8(28.6)	6(15.4)	20(27.8)	41(24.1)	n.s./n.s.
まったく	0(0.0)	6(37.5)	1(6.7)	2(8.3)	9(12.0)	0(0.0)	2(14.3)	3(18.8)	1(4.5)	6(7.8)	3(7.0)	4(12.1)	1(2.7)	3(6.8)	11(7.0)	3(9.7)	1(3.6)	5(12.8)	5(6.9)	14(8.2)	
計	20(1000)	16(1000)	15(1000)	24(1000)	75(1000)	25(1000)	14(1000)	16(1000)	22(1000)	77(1000)	43(1000)	33(1000)	37(1000)	44(1000)	157(1000)	31(1000)	28(1000)	39(1000)	72(1000)	170(1000)	

*** p<0.001, ** p<0.01, * p<0.05, n.s.:有意差なし

少した。韓国は、男女ともテコンドーが多く、次に男子はサッカー、女子はバレエ・ダンスであったが、その他のスポーツはほとんど行われていなかった。テコンドーは、男女とも学年が上がるに伴って減少していた。

2) 運動に対する子どもの意識 (表4)

①好き・嫌い

運動の好き・嫌いについては、「体を動かすことが好き」、「運動が好き」、「学校の体育が好き」かどうかについて尋ねたが、日本の子どもたちは男女とも好きな割合が高く、とくに男子は「とても好き」が多く、「体を動かすことが好き」について男女差がみられた。韓国でも好きな割合は高率であったが、「あまり好きでない」、「まったく好きでない」が日本より多かった。

②運動への意識

「運動は重要」と思っているのは両国とも高率であったが、日本では学年が上がるほど重要と思う率が高くなっているのに対し、韓国では有意な学年差ではなかったものの日本に比べると学年が上がると意識がやや低下する傾向がみられた。「運動の不足」を感じているのは、日本では女子より男子が多く、さらに韓国の男子は日本の男子よりも運動不足を感じている割合が高かった。「運動が得意」と思っている子どもたちは両国とも7割以上であり、とくに日本の男子は9割程度で男女差がみられたが、韓国では3～5年生までは7割以上だが6年生はやや低下し、学年差がみられた。「運動がもっとうまくなりたいために頑張っている」は、日本では「とても」、「まあまあ」が全体的に多い中で、低学年ほど「とても」が多く学年差がみられた。

③運動についてほめられたこと

「学校の先生やスポーツのコーチ」、「親」、「友だち」にほめられた経験を訪ねたが、日本、韓国とも7～8割が「ある」と答え、男女差はみられなかった。学年別では、韓国において「学校の先生やコーチ」、「友だち」にほめられた経験の比率に学年差がみられ、高学年で高くなっていた。

④体力

体力については、「体力の自信」と「体力の必要性」について尋ねたが、日本、韓国とも6～7割が体力に自信があると思っており、男女差、学年差はみられなかった。「体力の必要性」については、日本では男女とも100%近い子どもが必要と感じていたが、韓国で

は男子で約15%、女子で約20%があまり必要を感じていないという回答であった。

⑤親の運動

子どもの回答による親の運動に関しては、日韓とも同じような傾向であったが、日本では「親が運動やスポーツをしているのを見たことがある」が男子でやや高率であった。「親は運動が得意」は日韓とも低学年ほどそう思っていた。「親と一緒に運動に参加することがある」は男女差や学年差はみられなかったが、日本では「あまりない」が最も多いのに対して韓国では「とてもある」という回答が多くなっていた。

⑥友だちとの運動参加

運動参加の友だちとの関連については、「いじめられないために運動に参加する」、「友だちと一緒にいたいから運動に参加する」という質問に対し、どちらもあまりそうしたことはないという傾向がみられた。「友だちがみんな運動するから参加する」については、日本において低学年でやや多くなっていた。

⑦嗜好性

運動の嗜好性に関するものとして、「運動(動き)のまね」、「スポーツの話」、「運動やスポーツの観戦」、「好きなスポーツ選手がいる」について尋ねたが、男女差がみられたものは「スポーツの話」、「運動やスポーツの観戦」、「好きなスポーツ選手がいる」であり、両国とも男子に肯定的回答が多かった。韓国では「運動やスポーツの観戦」について男子の7割以上がよくみると答え、また7割以上の男女が「好きな選手がいる」と答えていた。その一方で、「スポーツの話」については学年が上がるると話をあまりしなくなり、この傾向は女子において顕著であった。

⑧勉強

「勉強が得意」かどうかについて、日本では4年生以上ではあまり得意ではないとする回答が増えていた。一方、韓国ではどの学年でも7割程度が得意と回答していた。

2. 親の状況

1) 親の運動状況

①親の過去および現在の運動

日本の「運動経験あり」の親は7～8割と高い割合であったのに対し、韓国は父親が4割程度、母親が1割台と少なかった。

しかし、現在の親の運動状況については、日本で週

表5 子どもの運動に対する親の支援（日本・韓国どちらからで差がみられた項目）

	日本												韓国													
	男子						女子						男子						女子							
	3年生	4年生	5年生	6年生	計	p値	3年生	4年生	5年生	6年生	計	p値	3年生	4年生	5年生	6年生	計	p値	3年生	4年生	5年生	6年生	計	p値		
とても	7(41.2)	3(21.4)	5(38.5)	7(30.4)	22(32.8)	9(50.0)	3(27.3)	9(52.9)	0(0.0)	21(33.3)	3(9.1)	3(15.0)	3(12.5)	2(6.3)	11(10.1)	1(5.0)	1(4.3)	2(7.4)	3(5.8)	7(5.7)						
まあまあ	9(52.9)	3(21.4)	2(15.4)	4(17.4)	18(26.9)	3(16.7)	2(18.2)	2(11.8)	4(23.5)	11(17.5)	15(45.5)	7(35.0)	10(41.7)	12(37.5)	44(40.4)	6(30.0)	6(26.1)	6(22.2)	14(26.9)	32(26.2)						
あまり	0(0.0)	4(28.6)	4(30.8)	3(13.0)	11(16.4)	6(33.3)	1(9.1)	3(17.6)	6(35.3)	16(25.4)	n.s./**															
まったく	1(5.9)	4(28.6)	2(15.4)	9(39.1)	16(23.9)	0(0.0)	5(45.5)	3(17.6)	7(41.2)	15(23.8)																
計	17(100.0)	14(100.0)	13(100.0)	23(100.0)	67(100.0)	18(100.0)	11(100.0)	17(100.0)	17(100.0)	63(100.0)																
とても	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(4.3)	1(1.5)	1(5.3)	1(9.1)	1(5.9)	0(0.0)	3(4.7)																
まあまあ	10(58.8)	3(21.4)	1(7.7)	2(8.7)	16(24.2)	8(42.1)	5(45.5)	10(58.8)	2(11.8)	25(39.1)	n.s./**															
あまり	3(17.6)	5(38.5)	5(38.5)	5(21.7)	18(27.3)	6(31.6)	3(27.3)	4(23.5)	5(29.4)	18(28.1)																
まったく	4(23.5)	5(38.5)	7(53.8)	15(65.2)	31(47.0)	4(21.1)	2(18.2)	2(11.8)	10(58.8)	18(28.1)																
計	17(100.0)	13(100.0)	13(100.0)	23(100.0)	66(100.0)	19(100.0)	11(100.0)	17(100.0)	17(100.0)	64(100.0)																
とても	14(82.4)	7(50.0)	5(38.5)	15(65.2)	41(61.2)	9(47.4)	7(63.6)	10(58.8)	12(70.6)	38(59.4)																
まあまあ	3(17.6)	6(42.9)	8(61.5)	7(30.4)	24(35.8)	10(52.6)	3(27.3)	7(41.2)	5(29.4)	25(39.1)																
あまり	0(0.0)	1(7.1)	0(0.0)	1(4.3)	2(3.0)	0(0.0)	1(9.1)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.6)	n.s./n.s.															
まったく	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)																
計	17(100.0)	14(100.0)	13(100.0)	23(100.0)	67(100.0)	19(100.0)	11(100.0)	17(100.0)	17(100.0)	64(100.0)																
とても	0(0.0)	0(0.0)	2(15.4)	2(9.5)	4(6.2)	2(10.5)	2(18.2)	2(11.8)	0(0.0)	6(9.4)																
まあまあ	10(58.8)	3(21.4)	3(23.1)	6(28.6)	22(33.8)	5(26.3)	4(36.4)	8(47.1)	4(23.5)	21(32.8)	n.s./n.s.															
あまり	5(29.4)	7(50.0)	6(46.2)	7(33.3)	25(38.5)	11(57.9)	2(18.2)	6(35.3)	7(41.2)	26(40.6)																
まったく	2(11.8)	4(28.6)	2(15.4)	6(28.6)	14(21.5)	1(5.3)	3(27.3)	1(5.9)	6(35.3)	11(17.2)																
計	17(100.0)	14(100.0)	13(100.0)	21(100.0)	65(100.0)	19(100.0)	11(100.0)	17(100.0)	17(100.0)	64(100.0)																
とても	7(41.2)	2(14.3)	5(38.5)	11(47.8)	25(37.3)	2(10.5)	3(30.0)	5(29.4)	1(5.9)	11(17.5)																
まあまあ	10(58.8)	11(78.6)	7(53.8)	10(43.5)	38(56.7)	16(84.2)	6(60.0)	10(58.8)	15(88.2)	47(74.6)																
あまり	0(0.0)	0(0.0)	1(7.7)	1(4.3)	2(3.0)	1(5.3)	1(10.0)	2(11.8)	0(0.0)	4(6.3)	n.s./n.s.															
まったく	0(0.0)	1(7.1)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(5.9)	1(1.6)																
計	17(100.0)	14(100.0)	13(100.0)	23(100.0)	67(100.0)	19(100.0)	11(100.0)	17(100.0)	17(100.0)	64(100.0)																
とても	9(52.9)	5(35.7)	7(53.8)	15(68.2)	36(54.5)	9(47.4)	4(36.4)	9(52.9)	6(35.3)	28(43.8)																
まあまあ	8(47.1)	5(35.7)	3(23.1)	3(13.6)	19(28.8)	10(52.6)	4(36.4)	6(35.3)	8(47.1)	28(43.8)																
あまり	0(0.0)	4(28.6)	3(23.1)	4(18.2)	11(16.7)	0(0.0)	2(18.2)	1(5.9)	2(11.8)	5(7.8)	*															
まったく	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)																
計	17(100.0)	14(100.0)	13(100.0)	22(100.0)	66(100.0)	19(100.0)	11(100.0)	17(100.0)	17(100.0)	64(100.0)																
とても	4(23.5)	1(7.1)	5(38.5)	5(22.7)	15(22.7)	2(10.5)	3(27.3)	2(11.8)	5(29.4)	12(18.8)																
まあまあ	12(70.6)	4(28.6)	4(30.8)	9(40.9)	29(43.9)	10(52.6)	2(18.2)	11(64.7)	6(35.3)	29(45.3)																
あまり	1(5.9)	6(42.9)	3(23.1)	4(18.2)	14(21.2)	5(26.3)	2(18.2)	4(23.5)	4(23.5)	15(23.4)	n.s./n.s.															
まったく	0(0.0)	3(21.4)	1(7.7)	4(18.2)	8(12.1)	2(10.5)	4(36.4)	0(0.0)	2(11.8)	8(12.5)																
計	17(100.0)	14(100.0)	13(100.0)	22(100.0)	66(100.0)	19(100.0)	11(100.0)	17(100.0)	17(100.0)	64(100.0)																
とても	5(29.4)	1(7.7)	3(23.1)	7(31.8)	16(24.6)	1(5.3)	2(18.2)	5(29.4)	4(23.5)	12(18.8)																
まあまあ	5(29.4)	2(15.4)	4(30.8)	6(27.3)	15(23.1)	2(10.5)	1(9.1)	6(35.3)	1(5.9)	10(15.6)																
あまり	5(29.4)	4(30.8)	5(38.5)	2(9.1)	16(24.6)	12(63.2)	3(27.3)	0(0.0)	8(47.1)	23(35.9)	n.s./n.s.															
まったく	2(11.8)	6(46.2)	3(23.1)	7(31.8)	18(27.7)	4(21.1)	5(45.5)	6(35.3)	4(23.5)	19(29.7)																
計	17(100.0)	13(100.0)	13(100.0)	22(100.0)	65(100.0)	19(100.0)	11(100.0)	17(100.0)	17(100.0)	64(100.0)																
とても	5(29.4)	3(21.4)	3(23.1)	6(27.3)	17(25.8)	4(21.1)	2(18.2)	1(5.9)	7(41.2)	14(21.9)																
まあまあ	4(23.5)	5(35.7)	6(46.2)	7(31.8)	22(33.3)	6(31.6)	5(45.5)	8(47.1)	7(41.2)	26(40.6)																
あまり	7(41.2)	5(35.7)	3(23.1)	7(31.8)	22(33.3)	5(26.3)	3(27.3)	4(23.5)	3(17.6)	15(23.4)	n.s./n.s.															
まったく	1(5.9)	1(7.7)	1(7.7)	2(9.1)	5(7.6)	4(21.1)	1(9.1)	4(23.5)	0(0.0)	9(14.1)																
計	17(100.0)	14(100.0)	13(100.0)	22(100.0)	66(100.0)	19(100.0)	11(100.0)	17(100.0)	17(100.0)	64(100.0)																

** p<0.01, * p<0.05, n.s.:有意差なし

表6 子どもの運動に対する親の考え

		日本										人数 (%)
		男子					女子					p 値
		3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	計	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	計	性別 / 学年別
子どもが運動をするのは重要である	とても	14 (82.4)	11 (84.6)	8 (61.5)	19 (86.4)	52 (80.0)	17 (89.5)	6 (54.5)	13 (81.3)	13 (76.5)	49 (77.8)	n.s./n.s
	まあまあ	3 (17.6)	2 (15.4)	5 (38.5)	3 (13.6)	13 (20.0)	2 (10.5)	5 (45.5)	3 (18.8)	4 (23.5)	14 (22.2)	
	あまり	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	
	まったく	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	
	計	17 (100.0)	13 (100.0)	13 (100.0)	22 (100.0)	65 (100.0)	19 (100.0)	11 (100.0)	16 (100.0)	17 (100.0)	63 (100.0)	
子どもに運動してほしい	とても	16 (94.1)	11 (84.6)	9 (69.2)	19 (90.5)	55 (85.9)	16 (84.2)	9 (81.8)	14 (87.5)	14 (82.4)	53 (84.1)	n.s./n.s
	まあまあ	1 (5.9)	2 (15.4)	3 (23.1)	2 (9.5)	8 (12.5)	3 (15.8)	2 (18.2)	2 (12.5)	3 (17.6)	10 (15.9)	
	あまり	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (7.7)	0 (0.0)	1 (1.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	
	まったく	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	
	計	17 (100.0)	13 (100.0)	13 (100.0)	21 (100.0)	64 (100.0)	19 (100.0)	11 (100.0)	16 (100.0)	17 (100.0)	63 (100.0)	
		韓国										p 値
		男子					女子					性別 / 学年別
		3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	計	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	計	性別 / 学年別
子どもが運動をするのは重要である	とても	17(51.5)	11(52.4)	17(70.8)	14(43.8)	59(53.6)	12(57.1)	12(52.2)	16(53.3)	27(51.9)	67(53.2)	n.s./n.s
	まあまあ	15(45.5)	10(47.6)	7(29.2)	15(46.9)	47(42.7)	8(38.1)	9(39.1)	13(43.3)	24(46.2)	54(42.9)	
	あまり	1(3.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(9.4)	4(3.6)	1(4.8)	2(8.7)	1(3.3)	1(1.9)	5(4.0)	
	まったく	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	
	計	33(100.0)	21(100.0)	24(100.0)	32(100.0)	110(100.0)	21(100.0)	23(100.0)	30(100.0)	52(100.0)	126(100.0)	
子どもに運動してほしい	とても	15(45.5)	9(42.9)	12(50.0)	14(43.8)	50(45.5)	11(52.4)	8(34.8)	11(36.7)	23(45.1)	53(42.4)	n.s./n.s
	まあまあ	16(48.5)	8(38.1)	10(41.7)	12(37.5)	46(41.8)	9(42.9)	13(56.5)	16(53.3)	24(47.1)	62(49.6)	
	あまり	2(6.1)	3(14.3)	2(8.3)	5(15.6)	12(10.9)	0(0.0)	2(8.7)	3(10.0)	4(7.8)	9(7.2)	
	まったく	0(0.0)	1(4.8)	0(0.0)	1(3.1)	2(1.8)	1(4.8)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(0.8)	
	計	33(100.0)	21(100.0)	24(100.0)	32(100.0)	110(100.0)	21(100.0)	23(100.0)	30(100.0)	51(100.0)	125(100.0)	

n.s.: 有意差なし

1 回以上運動を実施している割合は、父親が 3 割台、母親が 2 割台であるのに対し、韓国では、父親の 5 割以上、母親の 4 割以上が運動を実施しており、日本より韓国の親の比率が高くなっていった。両親の過去や現在の運動において、子どもの性別や学年による違いはみられなかった。

②運動の嗜好性

「普段、スポーツをみる (テレビを含む)」、「運動が楽しい」については、父親の比率が 8~9 割台、母親は 6~8 割台で、子どもの性別や学年との関連はみられなかった。

2) 子どもの運動への親の支援 (表 5)

①送迎

子どもの「運動する場所や友だちがいる所への送り迎え」について、日本では低学年が多く、韓国では女子よりも男子の親の方が送り迎えする割合が多くなっていた。

②激励

子どもの運動に対して「応援する」、「ほめる」、「喜びを表す」については、日本では男女差や学年差はみられず、「とても」、「まあまあ」が高率であったが、韓国では男子の親が 8 割以上「応援する」と答えてお

り、女子に比べて多い傾向がみられた。

③一緒に身体活動を行う

韓国では「一緒に身体活動を行っている」においても男子の親は肯定の回答が多く、女子の親は否定の回答が多いという男女差がみられた。

④手本や道具などの支援

韓国においては、「スポーツ道具を買い与える」、「運動に参加している子どもをみたことがある」でも男女差がみられ、男子の親が有意に多くなっていた。日本は、男女とも肯定の回答が多かったが、男女差や学年差はみられなかった。

⑤子どもの身体活動場での関わり

「ボランティアによる協力」では、韓国において男女差がみられ、男子の親の方が高い割合であった。「他の保護者と親しい」や「他の子どもに注意したことがある」では子どもの性別、学年別で差はみられなかったが、いずれも日本の親の方が韓国の親に比べて肯定的回答が多かった。

3) 子どもの運動に対する親の考え (表 6)

表 6 の結果は母親からの回答によるものであるが、これらには父親の考えも反映されているものと思われる。日本の親は、「子どもの運動は重要」と全員が考

えており、1名を除いて全員が「子どもに運動をしてほしい」と答えていた。一方、韓国では8～9割程度の親が運動を行うことに対して肯定的に答えていた。両国とも男女差、学年差はみられなかった。

IV. 考 察

本研究における子どもの現在の運動実施率（学校の体育授業以外）は、日本では男子が80%、女子が56%であるが、韓国では男子46%と半数以下であり、女子は21%と低く、運動実施率は全体的に日本の方が高かった。日本における2010年「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」⁵⁾の結果では、週1回以上学校の体育授業以外に運動を実施している小学生は、男子89.4%、女子79.7%で、本研究の対象者よりも高い比率である。韓国の2010年国民生活体育参与実態調査⁶⁾によると、週に2回以上、1回30分以上の運動・スポーツを実施した10代の割合は、男子42.7%、女子26.0%となっており、本研究の女子の対象者よりも高い比率ではあるが、韓国においては全体的に子どもの運動実施率が低い状況がうかがえる。

しかし、運動を行っている子どものうち、週2回以上の実施率は韓国の方が日本よりも高くなっていた。これは、テコンドーが盛んで男子の参加が多く、さらに、運動を趣味や楽しみとして行うよりも専門性を目指す子どもが多いために回数も多くなるという状況を反映したものではないかと考えられる。

幼児期の運動経験は、韓国より日本の子どもの方が多く、また身体活動（遊び）の種類も日本の方が多かった。幼少年期の運動の重要性について、金ら⁷⁾は、幼児期から自らの興味や関心に基づいて、楽しく自発的に行われた身体活動の経験は子どもに定着し、小学校時代まで維持することを報告しており、Barnettら⁸⁾は、子どもの運動習慣をそれ以後の運動への参加促進につなげるには、幼少年期に運動スキルを高めるのが効果的であると提案していることから、幼児期の運動・スポーツの経験は、小学生以降の運動参加や継続に関連することが考えられる。

また、運動について「学校の先生やコーチ」、「親」、「友だち」にほめられたことが両国とも多いことが明らかになった。とくに韓国では、学年が上がるとほめられた経験が多くなっており、「ほめる」教育がなされている可能性も考えられる。

「運動は重要である」、「スポーツの話をよくする」、

「運動やスポーツをよくみる」、「好きなスポーツ選手がいる」については、日本の方が肯定的回答が多くみられたが、「好きな選手がいる」は日本では男子に多く女子は少ない傾向であるのに対し、韓国では男女とも7割以上好きな選手がいると答えていた。これは、韓国においてスポーツ選手は特別の存在であり、尊敬や憧れを集めていることがうかがえる。その反面、運動やスポーツが身近なものではなく、才能ある特別な人がするもの、という感覚があることも考えられ、そのことが日常の運動への意識や関心に影響しているのではないかと推察される。運動に対する興味や関心は運動に参加したり継続したりするうえで重要な要素であるが、さらにそれが「観る」だけでなく自分自身が「行う」ものであるという方向に意識が変化するならば、韓国における運動習慣の継続が促進される可能性もあると考えられる。

運動における友だちとの関係については、日本では低学年と高学年で異なり、「友だちがみんな運動するという理由で自分も参加することがある」は高学年で少なくなっていた。一方、韓国では、男女差も学年差もみられず、友だちの影響はあまり受けない傾向がみられたが、これも運動を楽しみとして行うのではなく、専門的に行うことを目的とする子どもが多いことの表れではないかと思われる。

親の運動状況は、日本と韓国で大きな違いがみられた。日本では過去は行っていたが現在は行っていない親が多く、過去に比べ現在が低い割合となっていた。韓国では、父親、母親とも過去の子ども時代においては少ない割合であったが、現在運動を行っている親は日本よりも高率であった。とくに母親の現在の実施率が、過去に比べ高くなっていた。韓国の2010年国民生活体育参与実態調査⁶⁾によると、40代の週2～3回以上の規則的運動活動参与率は44.4%である。本研究の対象者はこれより少ない比率であったが、それでも日本より高く、2000年代から始まった韓国の週休2日制と成人の運動を推奨する政策は、保護者世代に大きな影響を及ぼしたのではないかと考えられる。

運動に対する親の考えでは、日本においてはとくに母親が、男女の別なく、自分の子どもに運動してほしいと思っていた。一方、韓国においては、現在運動をしている子どもが日本よりはるかに少ないにもかかわらず、子どもに運動をしてほしいという回答が多かった。このことは、子どもを取り巻く運動環境が改善で

きれば、今よりも運動やスポーツに親しむ子どもが増えることが期待できるのではないと思われる。

以上より、運動に対する日韓の子どもの状況や日常生活の中での興味・関心は異なることが示され、日本の子どもは韓国の子どもより運動・スポーツに対する意識や関心が高く、親のサポートも得られ、意欲や自信を持って運動・スポーツに取り組んでいることが把握されたが、学年が上がると、興味はあっても継続できない子どもがいることも明らかになった。日本においては、すでに文部科学省が、昭和60年頃から長期的に低下傾向にある子どもの体力を上昇傾向に転じさせるべくさまざまな取り組みを開始しているが、そのためには「生涯にわたって積極的に運動・スポーツに親しむ習慣や意欲、能力を育成すること」として、家庭・学校・地域の連携を進めている⁹⁾。本研究においても、家庭の支援や学校や地域の環境と指導者の励ましが重要であることが示唆された。

一方韓国においては、子どもの運動実施率は低いが、子どもと親の運動への関心は決して低いとはいえず、また、現在の親の運動実施率は日本よりも高いことから、そうした親の意識が子どもの運動参加に影響することも考えられる。そこで、今後、韓国において幼少期からの運動実施率を上げるためには、運動の継続は特殊な才能の持ち主が専門的に行うことという考え方の変容を図り、健康という観点からの運動への取り組みを促し、周囲の支援の方策等を検討していくことが必要であろうと考えられる。

なお、本研究は日本と韓国それぞれの1小学校の3～6年生を対象として行われたものであり、1事例に過ぎない。しかし、それでも両国の現在の子どもたちの状況や保護者の考えなどがある程度把握できたものと思われることから、今後は対象数を増やし、本研究から示唆された内容をさらに検討する必要があると考えている。

文 献

- 1) Malina RM, Bouchard C, Bar-Or O. Growth, maturation, and physical activity. (2nd ed.) Champaign, IL : Human Kinetics, 2004.
- 2) Boreham & Riddoch. The physical activity, fitness and health of children. *Journal of Sports Sciences* 2001 ; 19 : 915-925.
- 3) 韓国文化体育観光部. 国民体力実態調査. 2007. <http://culturestat.mcst.go.kr/mcst/resource/static/board/board01.html?boardId=NBRD-1000083>
- 4) Russell Jago, Kenneth R Fox, Angie S Page, et al. Development of scales to assess children's perceptions of friend and parental influences on physical activity. *International Journal of Behavioral Nutrition and Physical Activity* 2009 ; 6 : 67.
- 5) 文部科学省. 平成22年度体力・運動能力調査結果報告書. 2011.
- 6) 韓国文化体育観光部. 2010年国民生活体育参与実態調査. 2010.
- 7) 金 美珍, 小林正子, 中村 泉. 幼児期の運動や運動遊びの経験が学童期の子どもたちの生活・健康・体力に及ぼす影響. *小児保健研究* 2011 ; 70 (5) : 658-668.
- 8) Barnett LM, van Beurden E, Morgan PJ, et al. Childhood motor skill proficiency as a predictor of adolescent physical activity. *J Adolesc Health* 2009 ; 44 : 252-259.
- 9) 関 伸夫 (文部科学省スポーツ青少年局 生涯スポーツ課). 子どもの体力低下に対する国の取組み～体力向上の取組みと子どもの変化～. *子どもと発育発達* 2009 ; 7 (3) : 171-175.